

YS-2000

FM DIGITAL KEYBOARD WITH MIDI

取扱説明書



YAMAHA

このたびは、SHS-200をお買い上げいただき ありがとうございました。

本書は、SHS-200の操作方法を機能別に説明したものです。

お読みになった後も、保証書と共に大切に保管して、

わからないことや不都合が生じた際にご参照ください。

● 特 長 ●

- ◆49種類の音色データと49種類のリズムパターンを内蔵スピーカーで手軽に楽しめます。
- ◆コード進行をメモリーできるコードシーケンサーを6バンク搭載。シオルキーの伴奏で痛快なアンサンブルプレイが楽しめます。
- ◆音色やリズムチェンジ、エフェクトスイッチも左手でワンタッチだから、ミュージックプレイのスタイルがグーンと広がります。
- ◆MIDI端子を装備しているので、MIDI搭載音楽機器とのコミュニケーションが可能です。
- ◆ストラップを使って肩から下げて演奏することはもちろん、机の上に置いて両手を使ってソロと伴奏が楽しめるダブルハンドプレイ機能がついています。

目 次

	ページ
はじめに	1
各部の名称とはたらきについて	2~3
音色を選んで演奏しましょう	
音色の選び方	4
チューニング	4
トランスポーズ	4
演奏にリズムを加えてみましょう	5~6
音色に効果をかけてみましょう	
ピッチベンド	7
ピブラート	7
サステイン	8
ホルタメント	8
自動演奏について	
シングルフィンガーオートベースコード	9
オートベースコード	10
メロディ オン オートベースコード	10
オートベース	11
オートコード	11
コードシーケンサー機能を活用しましょう	12~13
シングルフィンガー コード一覧表	13
練習曲にトライ	
(1) ラ・バンバ	14
(2) ガラスの十代	14~15
MIDIコントロールについて	16
MIDIデータフォーマット	17~19
故障と誤りやすい現象	19
仕様	20
アフターサービスと保証について	21
オプション (別売) のご紹介	21

末永くご使用いただくためのご注意

こんな場所には置かないでください

- ◆暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など、極端に温度が高い場所には置かないでください。また、湿度が高かったりホコリの多い場所も避けてください。

ラジオやテレビから離してお使いください

- ◆ラジオやテレビなどのすぐ近くで使用になると、ラジオやテレビ側で雑音を発することがあります。十分に離してお使いください。

衝撃を与えないでください

- ◆本体を落としたり、重いものをのせたりしないでください。
- ◆ボタンやスイッチ類に、無理な力を加えないでください。

使用後は

- ◆必ずPOWERスイッチをOFFにしてください。
- ◆長い間使わない場合は、電池を抜いておいてください。
- ◆電源アダプターのプラグは、電源コンセントから抜いてください。

お手入れは

- ◆柔らかい布でから拭きしてください。
- ◆汚れがひどいときは、軽く水に湿らせた布で拭いてください。
- ◆アルコールやベンジンなどの溶液は、本体の外装を痛めますので、絶対に使わないでください。
- ◆塩ビ系のものを長時間置いておくと、張り付いてしまうことがありますのでご注意ください。

はじめに

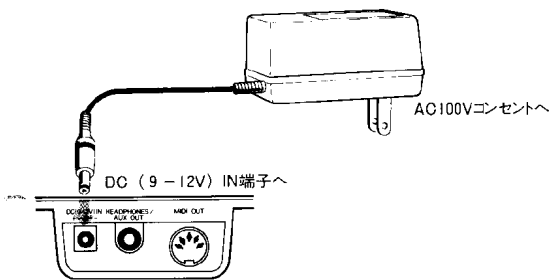
電源のセット方法

SHS-200は、乾電池でも家庭用コンセントでもご使用になれます。

①コンセントを使う場合

別売の電源アダプター (PA-3) が必要です。

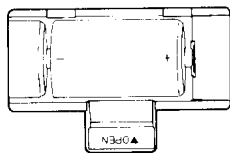
SHS-200本体の側面にあるDC (9~12V) IN端子に、電源アダプターのプラグを差し込んでください。



電源アダプターのPA-3が、AC100V (家庭用コンセント) を SHS-200 に合うDC 9~12Vに変換します。なお、アダプターによっては仕様異なるものもあります。上記のもの以外は、ご使用にならないでください。

②電池を使う場合

まず、SHS-200の裏側にある電池ケースのフタをあけます。次に付属の単2乾電池6本を一行に入れます。この時+と-の方向を間違えないようにご注意ください。セットが完了したら、フタを元通りにしててください。



電池に寿命がきて電圧が落ちてきますと、LEDディスプレイが点滅を開始します。さらに、この状態で演奏を続けると、音が途切れたり、出なくなったりなど、調子が不安定になります。このような状態のときは、6本共新しい電池と交換してください。

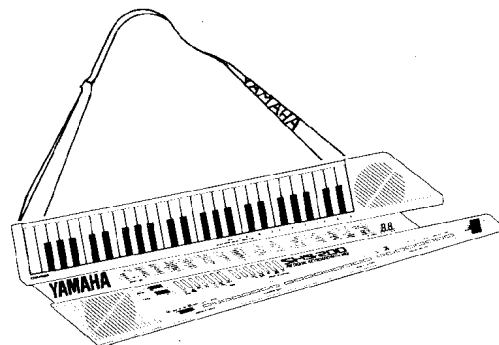
電池は、寿命の長いアルカリタイプをお勧めします。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

ストラップの取り付け

SHS-200は、立って弾くこともできる設計になっています。付属のストラップを取り付けることによって、肩から下げて手軽に演奏できます。ねじれないように、しっかりと取り付けてください。なお、ストラップの長さは、簡単に変えられますので、ご自分の使いやすい長さに合わせてください。

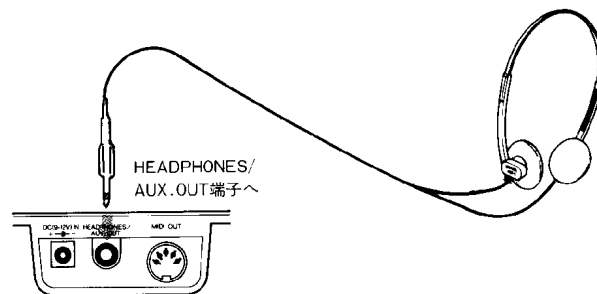


HEADPHONES/AUX.OUT端子の使い方

SHS-200の側面にあるHEADPHONES/AUX.OUT端子には、2種類の使い方があります。

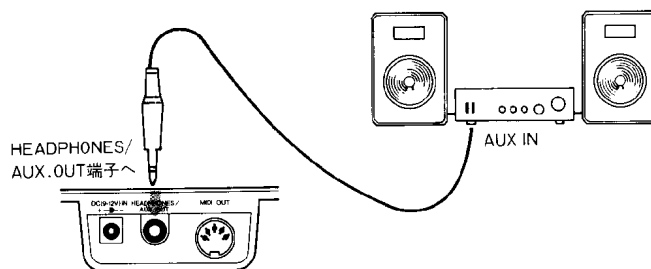
①ヘッドホン端子としての使い方

ヘッドホンを接続すると、SHS-200の内蔵スピーカーからは音が流れなくなります。一人で楽しみたいときや周囲に迷惑をかけがちな夜間の練習に最適です。



②キーボードアンプやステレオへの接続

キーボードアンプやステレオアンプに接続すると、より大きな音を出すことができます。ミキサーに接続することも可能です。なお、このばあい内蔵スピーカーからは、音が出なくなります。



*①、②どちらの場合もSHS-200のVOLUMEレバーで、音量の大きさをコントロールすることができます。

各部の名称とはたらきについて

- ①パワースイッチ (→ 4ページ)
電源を入れるスイッチです。
- ②ボリュームコントロールレバー (→ 4ページ)
全体の音量を調節するレバーです。
- ③ピッチベンドホイール (→ 7ページ)
ホイールの操作で、音色 (ボイス) の音程を上げ下げできます。
- ④ビブラート (→ 7ページ)
音色 (ボイス) にビブラート効果がかかります。
- ⑤サスティン (→ 8ページ)
音色 (ボイス) にサスティン効果がかかります。
- ⑥ポルタメント (→ 8ページ)
音色 (ボイス) にポルタメント効果がかかります。

RHYTHM CONTROL

- ⑦イントロ/フィルイン1、2、3 (→ 6ページ)
フィルインのパターンで曲を始めたり、途中でフィルインを入れるときに押すボタンです。
- ⑧スタート/ストップ (→ 5ページ)
自動伴奏やリズムをスタート/ストップさせるボタン。
- ⑨シンクロスタート/エンディング (→ 6ページ)
鍵盤を押すのと同時に自動伴奏やリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンをだすときにおします。

VOICE/STYLE SELECT

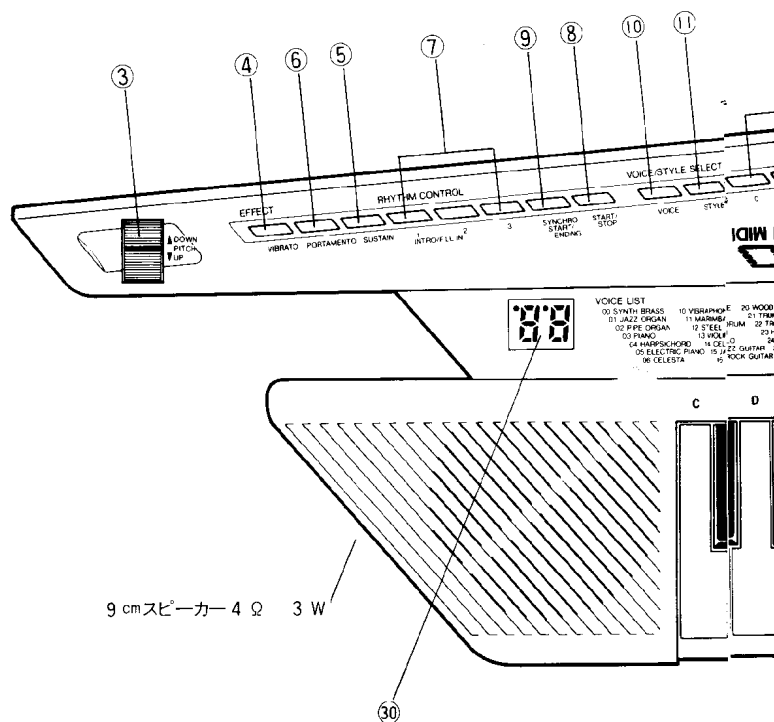
- ⑩ボイス (→ 4ページ)
このボタンを押し、⑫のボタンでボイスNo. (音色の種類) を選びます。
- ⑪スタイル (→ 5ページ)
このボタンを押し、⑫のボタンでスタイルNo. (リズムの種類) を選びます。
- ⑫0~6ボタン (→ 4、5ページ)
ボイスNo. やスタイルNo. を選ぶボタンです。

CHORD SEQUENCER

- ⑬プレイ1、2、3、4、5、6 (→ 12ページ)
記録済みのコード進行で自動伴奏させるときに押します。
- ⑭レコード (→ 13ページ)
このボタンを押しながら⑬のボタンを押すと、コード進行が記録できます。

PARAMETER CHANGE

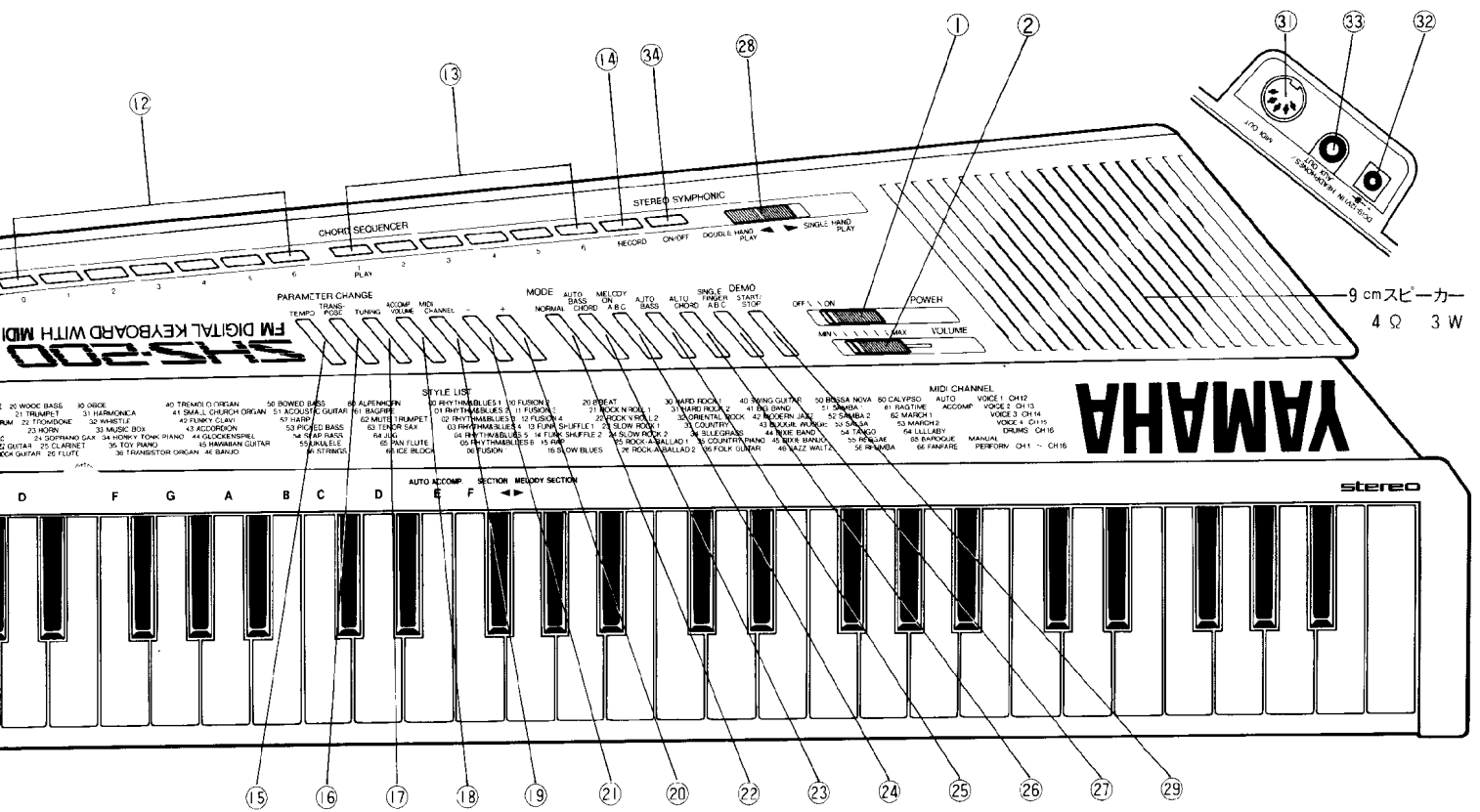
- ⑮テンポ (→ 5ページ)
このボタンと⑳、㉑で、リズムの速度を調節します。
- ⑯トランスポーズ (→ 4ページ)
このボタンと⑳、㉑で、弾き方を変えずに移調できます。
- ⑰チューニング (→ 4ページ)
このボタンと⑳、㉑で、SHS-200のチューニングを他の音源と合わせられます。
- ⑱アカンパニメント ボリューム (→ 6ページ)
このボタンと⑳、㉑で、自動伴奏の音量を調節できます。



- ⑲MIDIチャンネル (→ 16ページ)
このボタンと㉑、㉒でMIDIコントロールの際に、マニュアル演奏パートのMIDI送信チャンネルを、変更できます。
- ⑳+ボタン (→ 4、5ページ)
- ㉑-ボタン (→ 4、5ページ)
⑮~⑲のボタンで選んだ機能 (パラメーター) の値を替えるボタンです。

MODE

- ㉒ノーマル (→ 4ページ)
自動伴奏はつきません。6音まで同時に音がでます。
- ㉓オートベースコード (→ 10ページ)
リズム、ベース、コードの自動伴奏が付きまます。
- ㉔メロディ オン オートベースコード (→ 10ページ)
リズム、ベース、コードの自動伴奏が付きまます。さらに、自動伴奏に合わせて単音のメロディが弾けます。
- ㉕オートベース (→ 11ページ)
リズムとベースの自動伴奏が付きまます。自動伴奏に合わせて、メロディやコードも弾けます。
- ㉖オートコード (→ 11ページ)
リズムとコードの自動伴奏が付きまます。自動伴奏に合わせて、メロディやベースも弾けます。
- ㉗シングルフィンガー オートベースコード (→ 9ページ)
指一本で、リズム、ベース、コードの自動伴奏が付きまます。



⑳ シングルハンドプレイ/ダブルハンドプレイ (→ 8 ページ)

オートベースコードの自動伴奏が効く鍵域を選べるスイッチ。シングルは全鍵盤、ダブルはF#2以下が指定鍵域となります。ストラップを使って立って弾く時はシングルハンドプレイの方が便利ですが、伴奏とソロを同時に行なう場合は、机の上等に置いてダブルハンドプレイで弾いてください。

㉔ ステレオシンフォニック

音色にステレオシンフォニック効果がかかります。(パワースイッチを入ると、自動的にONになるようにセットされています。OFFにしたい場合は、押しして下さい。)

DEMO

㉑ デモ スタート/ストップ

SHS-200にプリセットされているデモンストレーション演奏をスタート/ストップさせるときに押すボタンです。メロディ音は、曲の進行に合わせて音色が変化するようにセットされていますが、自由に好きな音色に切り替えることができます。(ただし、曲の進行につれて音色が切り替わるところになると、自動的にプリセット音色に戻ります。) また、テンポや音程をかえたり、エフェクトをかけることもできます。

※SHS-200には、パワースイッチをOFFにしても、設定値が記憶されるものがあります。それ以外の記憶されないものは、パワースイッチをONにするたびに初期値に戻ります。ただし、記憶されるものについても、乾電池やACアダプターから適正電圧が供給されている場合に限り、乾電池やACアダプターがセットされていないと、全ての設定値は初期値に戻ってしまいます。

記憶されるものと、その初期値

- ポルタメントタイム 1
- ピッチベンドレンジ 1
- ビブラートの深さ 3
- MIDIチャンネル 1
- コードシーケンサー
...12ページに記載されているコード進行

※全ての設定値を初期値に戻すには、次のようなリセット操作を行います。

- ①パワースイッチをいったんOFFにします。
- ②MODEボタンのノーマルとオートベースコードを同時に押しながら、パワースイッチをONにし、そのまましばらく(2秒位)ノーマルとオートベースコードを押しして下さい。

㉓ LEDディスプレイ (→ 4 ページなど)

ボイスNo.やスタイルNo.、パラメーター値を表示します。

㉒ MIDI OUT端子 (→ 16 ページ)

MIDIデータを出力する端子です。

㉔ DC (9~12V) IN端子 (→ 1 ページ)

電源アダプターを接続する端子です。

㉕ HEADPHONES/AUX. OUT端子 (→ 1 ページ)

本機の音を出力する端子で、ヘッドホンやキーボードアンプ、ステレオアンプと接続できます。

音色を選んで演奏しましょう

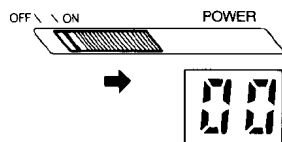
音色の選び方

SHS-200には、演奏する曲に合わせて選べる49種類のボイス（音色）がプリセットされています。

まず、いろいろな音色に切り替えて演奏してみましょう。

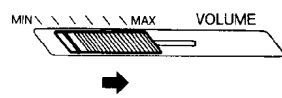
①電源を入れる

パワースイッチをONにします。電源が入ると、LEDディスプレイに〈00〉が表示されます。



②音量を調節します

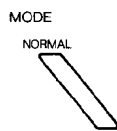
ボリュームコントロールレバーを右方向にスライドさせて、適当な音量に調節します。



③ノーマルモードに切り替えます

自動伴奏のきで演奏するときは、ノーマルモードにします。NORMALボタンを押してください。

※ノーマルモードは、6音まで同時に発音します。7音以上鍵盤をおさえた場合は、後着優先（後から押した鍵盤の音を優先して発音）になります。



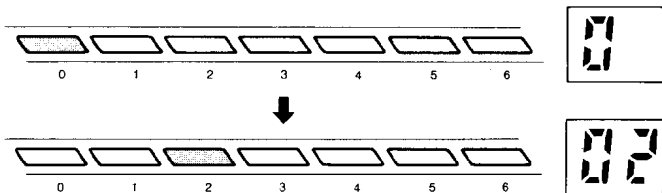
④ボイスモードに切り替えます

VOICEボタンを押してください。



⑤音色を選びます

音色のボイスNoは、0、1、2、3、4、5、6ボタンで指定します。たとえば、ボイスNo.02のパイプオルガンの場合、〈0〉のボタンを押してから〈2〉のボタンを押します。（音色とナンバーの関係は、コントロールパネルのVOICE LISTをご覧ください。）



⑥音色を出してみましょう

鍵盤を押すと、⑤で選んだ音色で鳴り出します。

他の音色に切り替えたいときには、④⑤の操作を繰り返してください。

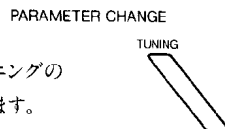
※リズムを切り替えずに、音色だけを続けて切り替える場合には、④の操作を省略することができます。

チューニング

SHS-200には、チューニング機能があります。他の楽器やレコード、CD、テープの音楽に合わせて演奏するときには、ピッチ（音程）を動かすことができます。

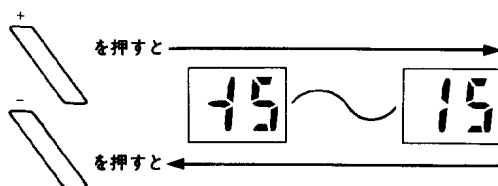
①チューニングボタンを押します

TUNINGボタンを押して、チューニングのパラメーター（機能）を呼び出します。



②チューニングの方法

+/-ボタンを押してチューニングをします。変更できる範囲は〈0〉を基準（A3=440Hz）として、〈-15（半音弱低い）〉〜〈15（半音弱高い）〉です。本機と合わせたい音を出しながら、ピッチを調節してください。

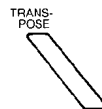


トランスポーズ

トランスポーズにより、押した鍵盤と実際に発音される音の発音ピッチを変えることができます。他の楽器と合わせたり歌の伴奏をするときに、弾き方を変えなくても移調できるので便利です。また、鍵盤の最低音より低い音や最高音より高い音が必要なときにも役に立ちます。

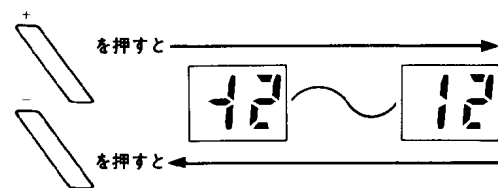
①トランスポーズボタンを押します

TRANSCOPEボタンを押して、トランスポーズのパラメーター（機能）を呼び出します。



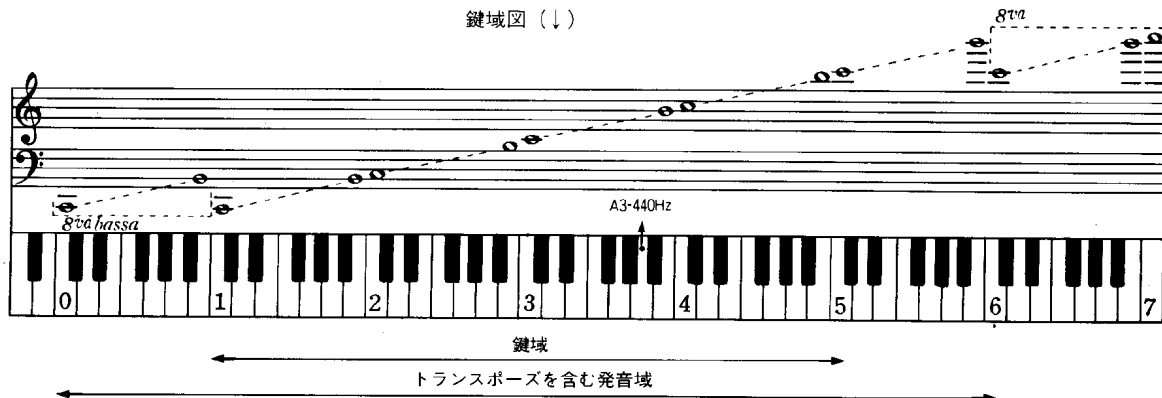
②トランスポーズの方法

+/-ボタンを押してトランスポーズを行います。変えられる範囲は、〈0〉を基準として、〈-12（-1オクターブ）〉〜〈12（1オクターブ）〉です。例えば、値を〈3〉にすると、3半音上の音がでるようになります。つまり、ハ長調の曲を弾くと、3半音高い音がでて、変ハ長調に移調されます。



※チューニングとトランスポーズの場合、+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準値の〈0〉にセットされます。

鍵域図（↓）



演奏にリズムを加えてみましょう

リズムの選び方

今度は、演奏にリズムを加えてみましょう。

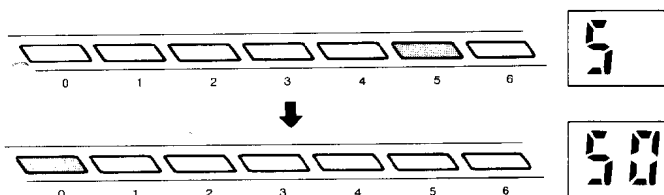
①まず、スタイルモードに切り替えます。

STYLEボタンを押して、スタイルモードに切り替えます。



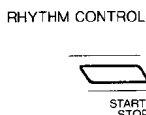
②リズムを選びます

リズムのスタイルNoは、0、1、2、3、4、5、6ボタンで指定します。たとえば、スタイルNo.50のボサノバの場合、〈5〉のボタンを押してから〈0〉のボタンを押します。(スタイルとナンバーの関係は、コントロールパネルのSTYLE LISTをご覧ください。)



③リズムをスタートさせましょう

START/STOPボタンを押して、リズムをスタートさせます。②で選んだスタイルでドラム音が鳴り出します。ドラム音に合わせて演奏してみましょう。



④リズムの止め方

スタート/ストップボタンを押すと、リズムが停止します。



●別のリズムへの切り替え方について

②で選んだリズムを一度止めなくても、別のリズム(スタイル)に切り替えることもできます。切り替えたいときには、②の操作を繰り返してください。ただし、その前にボイスモードで音色を切り替えたときには、①から操作しなおす必要があります。

覚えておくと便利です

※テンポの初期値は、スタイルNo.によって異なります。ただし、リズムを止めずに他のスタイルを選んだときには、テンポはそのまま変わらずに、スタイルだけが切り替わります。

※リズムを完全に止めてから、別のリズムに切り換えてスタートさせたときには、それぞれの初期値のテンポになります。

つぎに、弾く曲に合わせてリズムのテンポを変えてみましょう。テンポの変更は、リズムがスタートしているときだけでなく、止まっているときにも可能です。

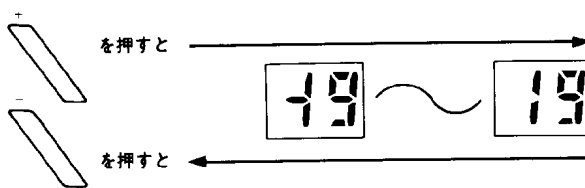
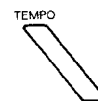
①TEMPOボタンを押して、テンポのパラメーター

(機能)を呼び出します。

PARAMETER CHANGE

②〈+〉〈-〉ボタンを押してテンポを調節します。

テンポの早さは、〈-19 (♩=54)〉〜〈19 (♩=264)〉の範囲で調節できます。



※各設定値と速さの関係を表にまとめると、下図のようになります。

設定値	速さ (♩=)	設定値	速さ (♩=)	設定値	速さ (♩=)
+19	264	+6	160	-7	92
+18	256	+5	152	-8	88
+17	248	+4	144	-9	84
+16	240	+3	138	-10	80
+15	232	+2	132	-11	76
+14	224	+1	126	-12	72
+13	216	0	120	-13	69
+12	208	-1	116	-14	66
+11	200	-2	112	-15	63
+10	192	-3	108	-16	60
+9	184	-4	104	-17	58
+8	176	-5	100	-18	56
+7	168	-6	96	-19	54

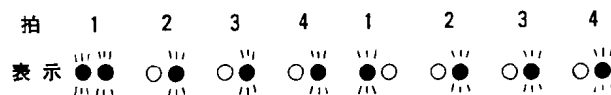
覚えておくと便利です

※変更したテンポは、別のリズム(スタイル)に切り替えたり、パワースイッチをOFFにするまで、そのまま維持されます。

※〈+〉と〈-〉ボタンを同時に押すと、設定値は〈0〉になります。

覚えておくと便利です

※リズムパターンは、2小節単位で構成されています。



※LEDディスプレイ内の2つのドットは、リズムに合わせて、上図のように点灯します。

シンクロスタート

リズムをスタートさせるときに、シンクロスタート/エンディングボタンを使って、演奏の開始と同時にリズムをスタートさせることができます。

- ①リズムを選びます。
- ②SYNCHRO START/ENDINGボタンを押します。LEDディスプレイ内のドットが点滅して、シンクロスタンバイの状態になります。



- ③鍵盤を押してプレイすると同時に、リズムがスタートします。

覚えておくと便利です。

※シンクロスタンバイを解除したいときには、もう一度シンクロスタート/エンディングボタンを押してください。

エンディング

リズムをスタートさせた後で、シンクロスタート/エンディングボタンを押すと、エンディングのフレーズの後、リズムが停止します。

- エンディングの動作は2小節が基本ですが、スタイルによっては、2小節未満のエンディングパターンしか持たないものもあります。

フィルイン

リズムをスタートさせた後で、INTRO/FILL IN 1、2、3ボタンを押してみましょう。変則的なリズムのパターンが、その小節の終わりまで入ります。

(つまり、リズムにオカズを入れる、と一般的にいわれる状態になります。)

3つあるボタンの発音パターンは、それぞれ異なります。



覚えておくと便利です

※フィルインボタンを1小節以上押し続けると、押し続けている間フィルインのパターンが繰り返されます。

イントロプレイ

リズムが停止した状態で、イントロ/フィルイン1、2、3ボタンを押してみましょう。1小節分のフィルインを頭にリズムがスタートします。

継続スタート

リズムを停止させると、LEDディスプレイ内のドットが点滅します。この間に、フィルイン1、2、3のうちのどれかを選んでボタンを押すと、フィルインパターンについて、停止前のリズムが継続されます。点滅中リズムを維持するこの機能をうまく使うと、正確なブレイクが可能になります。

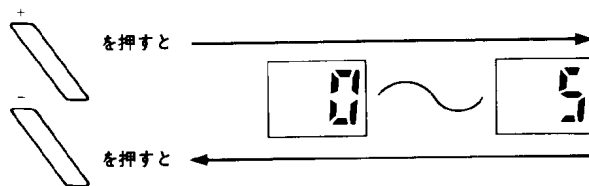
ドットの点滅時間

- START/STOPボタンを2拍目のウラ以降に押した場合
……次の小節の4拍目まで
- START/STOPボタンを2拍目の表以前に押した場合
……その小節の4拍目まで
- SYNCHRO START/ENDINGボタンを押した場合
……エンディングパターン終了後1小節の間

リズムの音量調節

演奏の音量を変えずに、リズムの音量だけを変えることができます。なお、この場合、次ページ以降で解説する自動伴奏(ベース、コード)の音量も同時に変更されます。

- ①リズムをスタートさせます。
- ②ACCOMP. VOLUMEボタンを押して、アкомпニメントボリュームのパラメーター(機能)を呼び出します。
- ③0~5の範囲で音量の大きさを調節することができます。〈+〉〈-〉ボタンを押して調節してください。初期値は〈4〉に設定されています。ただし、〈0〉にすると音は消えます。



音色に効果をかけてみましょう

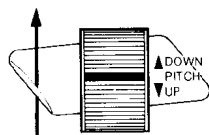
SHS-200には、4種類のエフェクトがあります。

ワンタッチで切り替えOKなので、曲のフレーズに合わせて、多彩なプレイを楽しむことができます。

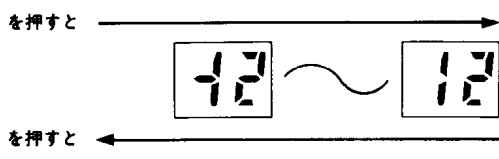
ピッチベンド

PITCHベンドホイールを回しながら演奏すると、音色（ボイス）の音程を上げ下げでき、ギターのコウキング奏法のような効果が得られます。

ピッチベンドホイールをUP側に回すと音程が上がります。音程を下げたいときには、DOWN側に回します。



をどちらか一杯に回しながら



※音程の変化の幅は、必要に応じて<12(+1オクターブ)>~<-12(-1オクターブ)>の範囲で変更することができます。初期値は<1>に設定されていますので、変更したいときには、ピッチベンドホイールをUP側またはDOWN側いっぱいまで回しながら、<+> <-> ボタンを押して調節します。たとえば、値を<3>に設定すると、ホイールをUP側いっぱいへ回した時の音程の変化の幅が、3半音(300セント)上がるようになります。また、マイナス値にしたときには、UP/DOWNの上がり方と下り方が、プラス時と逆になります。

各設定値と音程の変化の幅を表にまとめると、下図のようになります。

設定値	PITCHベンドホイールを、それぞれの方向いっぱいへ回したときの变化量		設定値	PITCHベンドホイールを、それぞれの方向いっぱいへ回したときの变化量	
	UP側	DOWN側		UP側	DOWN側
-12	1オクターブ下がる	1オクターブ上がる	+1	1半音上がる	1半音下がる
-11	11半音下がる	11半音上がる	+2	2半音上がる	2半音下がる
-10	10半音下がる	10半音上がる	+3	3半音上がる	3半音下がる
-9	9半音下がる	9半音上がる	+4	4半音上がる	4半音下がる
-8	8半音下がる	8半音上がる	+5	5半音上がる	5半音下がる
-7	7半音下がる	7半音上がる	+6	6半音上がる	6半音下がる
-6	6半音下がる	6半音上がる	+7	7半音上がる	7半音下がる
-5	5半音下がる	5半音上がる	+8	8半音上がる	8半音下がる
-4	4半音下がる	4半音上がる	+9	9半音上がる	9半音下がる
-3	3半音下がる	3半音上がる	+10	10半音上がる	10半音下がる
-2	2半音下がる	2半音上がる	+11	11半音上がる	11半音下がる
-1	1半音下がる	1半音上がる	+12	1オクターブ上がる	1オクターブ下がる

(例) ギターの音色にピッチベンドをかけてみましょう

「想い出の渚」より

- ボイス：15 JAZZ GUITAR
- テンポ：-2
- スタイル：22 ROCK'N' ROLL 2
- ピッチベンド：1

作曲：加瀬邦彦



(半音位下げて、再びもとにもどす。)

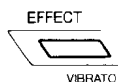
日本音楽著作権協会 (出) 許諾第8752373-701号

ビブラート

VIBRATOボタンを押しながら演奏すると、小さく音色（ボイス）音程が上下して、音にうるおいと深い感情が加わります。

シングルハンドプレイの時は、ボタンを押している間、効果がかかります。

ダブルハンドプレイの時は、ボタンがON/OFFスイッチとなります。



※ビブラートの深さは、1~5の範囲から好きな深さに設定できます。初期値は<3>に設定されていますので、変更したいときには、ビブラートボタンを押しながら、<+> <-> ボタンを押して調節してください。

(例) 長めの音符にビブラートをかけてみましょう。

「涙のリクエスト」より

- ボイス：16 ROCK GUITAR
- ビブラート：3

作曲：芹沢廣明



日本音楽著作権協会 (出) 許諾第876237-701号

サスティン

シングルハンドプレイの時は、ボタンを押している間、効果がかかります。
ダブルハンドプレイの時は、ボタンがON/OFFスイッチとなります。

(例) ピアノの音色にサスティンをかけてみましょう。
「悲しみにさよなら」より

- ボイス：03 PIANO
- スタイル：06 FUSION I
- テンポ：- 3

作曲：玉置浩二

ポルタメント

シングルハンドプレイの時は、ボタンを押している間、効果がかかります。
ダブルハンドプレイの時は、ボタンがON/OFFスイッチとなります。

PORTAMENTO ボタンを押しながら演奏すると、最初に押した鍵盤の音から、次に押した鍵盤の音へとなめらかに音程が移動していきます。



※音程間の移行スピードは、1～5の範囲から好きな速度に調節できます。初期値は〈1〉に設定されていますので、変更したいときには、ポルタメントボタンを押しながら、〈+〉〈-〉ボタンを押して調節してください。

(例) ミュージックボックスの音色にポルタメントをかけてみましょう。

●ボイス：33 MUSIC BOX

作曲：C. Debussy

●ポルタメント：1

覚えておくと便利です

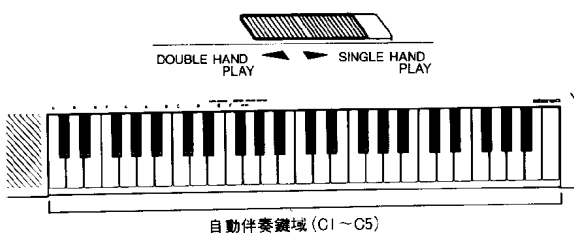
※ピッチベンド、ビブラート、ポルタメントの設定値を初期値から変更した場合、乾電池またはACアダプターをセットしてあれば、指定した値はパワースイッチをOFFにしても、消えてしまうことはありません。

※ドラム音や自動伴奏の音には、効果がかかりません。

シングルハンドプレイとダブルハンドプレイ

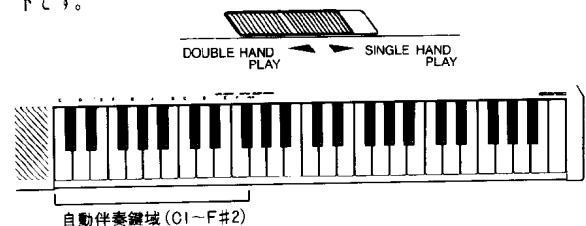
●シングルハンドプレイ

ストラップを使って立って弾くときには、スイッチをシングルハンドにしてください。全鍵盤が自動伴奏機能 (9 ページ) の指定鍵域になります。



●ダブルハンドプレイ

伴奏とソロを同時に行いたいときには、スイッチをダブルハンドプレイにし、机の上などに置いて弾いてください。自動伴奏機能の鍵域指定はF#2以下です。



自動伴奏について

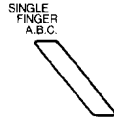
つぎに、ドラム音だけでなく、コード音やベース音を自動的に発音させる自動伴奏機能を紹介しします。
SHS-200には、5種類の自動伴奏機能があります。

シングルフィンガーオートベースコード

コードを全部押さなくても、簡単に自動伴奏をさせることができる機能です。たとえば、メジャーコードなら指一本、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけでOKです。

シングルフィンガーオートベースコードは、ドラム音及び他の4パートからなる自動伴奏です。スタイルによって、楽器の編成、音量、パターンが異なります。

- ①リズム（スタイル）を選びます。
- ②SINGLE FINGER A. B. Cボタンを押して、シングルフィンガーオートベースコードのモードにします。
- ③シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押します。スタート/ストップボタンを押した場合は、この時点でドラム音が鳴り出します。



※シングルハンドプレイ及びダブルハンドプレイの鍵域指定については8ページをご覧ください。

シングルハンドプレイの場合

マニュアル演奏音は、発音されません。

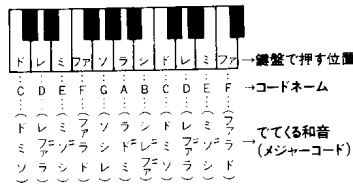
ダブルハンドプレイの場合

G2より上の鍵域に、2音までのマニュアル演奏音を加えることができます。

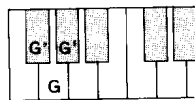
- ④曲のコード進行に合わせて、鍵盤を押さえてみましょう。鍵盤を押さえると、自動伴奏が始まります。
- ⑤演奏を終了させたいときには、シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押して、自動伴奏を終了させます。シンクロスタート/エンディングボタンを押した場合は、エンディングのフレーズの後、終了します。

シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



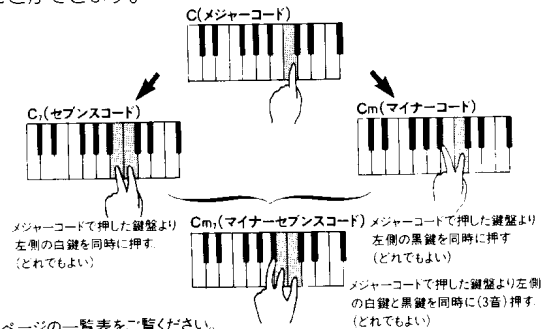
#、bのついているコードのだし方



#がついていたら、上の図で説明した位置の右の上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。

セブンスコード、マイナーコードのだし方

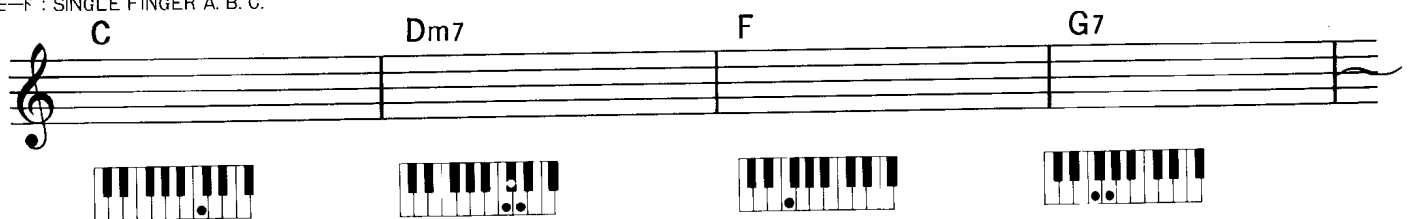
アルファベット1文字のコード（C、Dなど）をメジャーコードといいますが、伴奏はメジャーコードだけでは限りません。例えば（G7）のようなセブンスコード、（Am）のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時におすことができます。



※詳しくは13ページの一覧表をご覧ください。

シングルフィンガー オートベースコード プレイの例

モード：SINGLE FINGER A. B. C.



シングルフィンガーオートベースコード以外の自動伴奏機能に共通する検出可能なコードの種類は、次のとおりです。

● 内の音を弾かずに、省略しても検出されます。なお、augおよびdimは、最低キーを根音として検出します。

（例）Cコードの場合

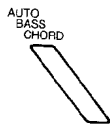
メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード	マイナーセブンスコード	メジャーセブンスコード	マイナーセブンスフラットドファイフコード	セブンスサスフォーコード	オーギュメントコード	ディミニッシュコード	マイナーメジャーセブンスコード
C	Cm	C7	Cm7	CM7	Cm7-5	C7sus4	Caug	Cdim	CmM7

オートベースコード

普通にコードを押さえて自動伴奏をさせる機能です。コード演奏になれている人や、シングルフィンガーオートベースコードのコードだけでは演奏できない曲に向いています。

自動伴奏の内容は、シングルフィンガーオートベースコードの場合と同じです。

- ①リズム (スタイル) を選びます。
- ②AUTO BASE CHORDボタンを押して、オートベースコードのモードにします。
- ③シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押します。



〈オートベースコード プレイの例〉

モード : AUTO BASS CHORD

シングルハンドプレイの場合

マニュアル演奏音は、発音されません。

ダブルハンドプレイの場合

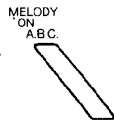
G 2 より上の鍵域に、2音までのマニュアル演奏音を加えることができます。

- ④曲のコード進行に合わせて、コードを押さえてみましょう。検出可能なコードを押さえると、自動伴奏のコードが変わります。
- ⑤演奏を終了させたいときには、シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押して、自動伴奏を終了させます。

メロディ オン オートベースコード

普通にコードを押さえて自動伴奏させ、さらに単音のメロディを加えることができる機能です。

自動伴奏の内容は、オートベースコードの場合と同じです。



- ①リズム (スタイル) を選びます。
- ②メロディ音の音色 (ボイス) を選びます。
- ③MELODY ON A. B. C. ボタンを押して、メロディオンオートベースコードのモードにします。
- ④演奏してみましょう。コードを押さえると自動伴奏のコードが変わります。コードを押さえたときの押鍵の音は鳴りませんが、単音の押鍵はメロディとして発音されます。(コードを押さえるときに、バラバラにくずして弾くとメロディ化して鳴りだしますので、同時に鍵盤を押さえてください。)
- ⑤演奏を終了させたいときには、シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押して、自動伴奏を終了させます。

〈メロディ オン オートベースコード プレイの例〉

モード : MELODY ON A. B. C.

ボイス : 00 SYNTH BRASS

スタイル : 01 RHYTHM & BLUES 2

テンポ : 0 オートベースコードをバックに、アドリブを弾く例です。

シングルハンドプレイの場合も、ダブルハンドプレイの場合も

全鍵域から単音のメロディを加えることができます。

覚えておくと便利です

- ※自動伴奏中にイントロ/フィルインボタンを押すと、リズムにオカズが入るとともに、伴奏アレンジも変化します。(フィルイン3は、リズムのみが変化する。)
- フィルイン1~3のそれぞれの変化を覚えて、演奏にメリハリをつけましょう。
- ※リズムが止まっている時にイントロ/フィルインボタンを押すと、リズムと伴奏がエンディングパターンを演奏して終了します。

オートベース

普通にコードを押さえてドラム音とベース音による自動伴奏をさせ、さらに5音（または3音）までの演奏音をのせることができる機能です。

- ①リズム（スタイル）を選びます。
- ②メロディ音の音色（ボイス）を選びます。
- ③AUTO BASSボタンを押して、オートベースのモードにします。
- ④演奏してみましょう。コードを押さえると、押さえたコード音に基づいたベースパターンが鳴りだします。また、コード音は押さえた通りに発音します。
- ⑤演奏を終了させたいときには、シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押して、自動伴奏を終了させます。

AUTO
BASS

シングルハンドプレイの場合

全鍵域から5音までボイスNo.で指定した音色の演奏音を加えることができます。

（ただし、自動伴奏の指定鍵域で同時に3音以上押鍵すると、自動伴奏のコードは変化してしまいます。）

ダブルハンドプレイの場合

マニュアル演奏によるコード音3音（音色はスタイル毎に決まっています）とG2より上の鍵域で、2音までボイスNo.で指定した音色の演奏音を加えられます。

〈オートベース プレイの例〉 オートベースをバックに、複音でメロディを弾く例です。

モード：AUTO BASS
スタイル：43 BOOGIE WOOGIE
ボイス：15 JAZZ GUITAR
テンポ：5



オートコード

普通にコードを押さえてドラム音とコード音による自動伴奏をさせ、さらにメロディ音やベース音をのせることができる機能です。

- ①リズム（スタイル）を選びます。
- ②メロディ音の音色（ボイス）を選びます。
- ③AUTO CHORDボタンを押して、オートコードのモードにします。
- ④演奏してみましょう。3音以上の検出可能なコードを押さえると、押さえたコードの音色とコードパターンの伴奏が鳴りだします。この時に、メロディ音を加えることができます。ただし、つぎにコードを押鍵するまで伴奏パターンは変わりません。

AUTO
CHORD

シングルハンドプレイの場合

全鍵域からメロディ音またはベース音として1音加えることができます。

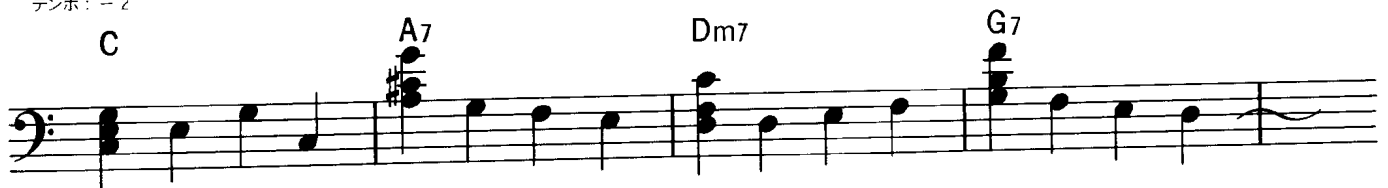
ダブルハンドプレイの場合

F#2以下で1音（スタイル毎に決まる音色）、G2以上で2音（ボイスNo.で指定した音色）まで、マニュアル演奏音を発音します。

- ⑤演奏を終了させたいときには、シンクロスタート/エンディングボタンまたはスタート/ストップボタンを押して、自動伴奏を終了させます。

〈オートコード プレイの例〉 オートコードをバックに、ベースを弾く例です。

モード：AUTO CHORD
スタイル：40 SWING GUITAR
ボイス：20 WOOD BASS
テンポ：- 2



コードシーケンサー機能を活用しましょう

SHS-200には、コード進行を記録する6つのバンクがあります。

このコードシーケンサー機能を上手に使うことによって、SHS-200に伴奏をまかせて、プレイやボーカルに専念することができます。

6つのバンクには、それぞれ異なったコード進行を記録させることができます。また、記録したコード進行に、リズム(スタイル)と自動伴奏モードを選んで組み合わせて、自由に再生することができます。(一例をあげると、〈サンバ〉のリズムと〈オートコード〉モードにして記録したものを、プレイの時に〈ビッグバンド〉のリズムと〈オートベース〉モードで再生することも可能です。)

6つのバンクには、あらかじめ右記のコード進行が記録されています。

- ※右記のコード進行は、新しいコードを記録した時点で消えてしまいます。
- 1つのバンクに約70コードずつ記録できる上に、コード進行だけでなく、フィルイン、ストップ、エンディングが記録できます。
- また、スタイルNo.とテンポも記録します。

PLAY 1 (スタイル: 00 RHYTHM & BLUES 1)(テンポ: -6)

| FILL① C₇ | F₇ | FILL① C₇ | FILL③ F₇ ||

PLAY 2 (スタイル: 43 BOOGIE WOOGIE)(テンポ: 6)

| C₇ | C₇ | C₇ | C₇ |

| F₇ | F₇ | C₇ | C₇ |

| G₇ | F₇ | C₇ | FILL① G₇ ||

PLAY 3 (スタイル: 10 FUSION 2)(テンポ: -4)

| C | C | A_{m7} | A_{m7} |

| D_{m7} | D_{m7} | G₇ | G₇ ||

PLAY 4 (スタイル: 15 RAP)(テンポ: -7)

| C₇ | C₇ | C₇ | FILL① C₇ |

| C₇ | C₇ | C₇ | FILL② C₇ |

| C₇ | C₇ | C₇ | FILL③ C₇ ||

PLAY 5 (スタイル: 22 ROCK'N'ROLL 2)(テンポ: 4)

| C F | G₇ | C F | FILL① G₇ ||

PLAY 6 (スタイル: 56 RHUMBA)(テンポ: 0)

| A_m | G | F | FILL③ E₇ ||

※コード進行を新しく記録した後で、上のコード進行に戻りたいときには、3ページで紹介したリセット操作をしてください。

シーケンスプレイ

まず、あらかじめ記録されているコード進行で、プレイしてみましょう。自分で記録させたコード進行を再生する場合も、方法はまったく同じです。

①自動伴奏のモードを選びます

たとえば、ベース音とドラム音のみの伴奏でよいときは、モードをオートベースにしてください。

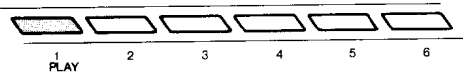
②メロディの音色を選びます

自動伴奏に合わせてメロディを演奏する場合は、音色(ボイス)を選んでください。

③コードシーケンサーのプレイボタンを押します

コードシーケンサーのPLAY 1, 2, 3, 4, 5, 6 ボタンのうち、必要なコード進行が記録されているバンクのボタンを押してください。バンクのコード進行に合わせて、自動伴奏が鳴ります。

CHORD SEQUENCER



※シーケンスプレイの途中でも、リズム、テンポ、自動伴奏モードを変更したり、必要に応じてフィルインを加えるなど、様々なコントロールをすることができます。

④他のバンクへの切り替え方

切り替えたいバンクのボタンを押してください。スイッチが押されたのが1拍目ならその時点から、2拍目以降ならば次の小節の頭から、切り替えたバンクのコード進行が始まります。6つのバンクをうまく組み合わせて使うと、約420以上のコード進行が記録されたバンクを使うのと同じことになります。

⑤シーケンスプレイの終了について

コード進行の最後までプレイされた場合の自動伴奏は、もう一度、繰り返されます。スタート/ストップボタンまたはシンクロススタート/エンディングボタンを押して、自動伴奏を終了させてください。ただし、あらかじめシーケンスレコーディングがシンクロススタート/エンディングボタンで終了しているときには、記録どおりにエンディングを行ってから、自動的に終了します。

覚えておくと便利です

※シーケンスプレイ中にスタイルやテンポを変更した場合、それ以後、そのバンクに記録されていたスタイルやテンポは変更されます。

※1つのバンクの再生中に他のバンクのボタンを押すと、次の小節の頭から押した方のバンクに切り替わります。

A - A - B - Aの形式の曲の時に、この機能を利用してバンク1にA、バンク2にBをいれておけば、バンクを切り替えるだけで簡単にプレイが楽しめます。

シーケンスレコーディング

今度は、自分でコードを記録してみましょう。

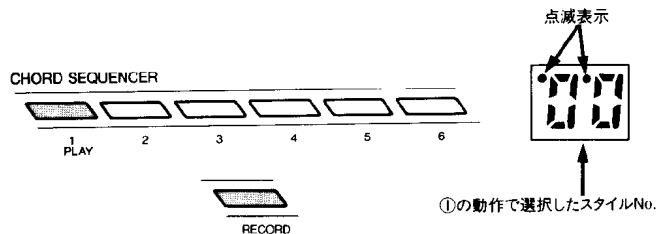
①プレイしやすい状態を選びます

リズム (スタイル) や自動伴奏モードを選び、テンポを調整します。再生時に、リズムスタイル、テンポを設定しなおすこともできますので、自分でプレイしやすい状態を選んでください。

※自動伴奏モードがノーマルかメロディオンオートベースコードのときはオートベースコードに、その他のモードは発音状態のまま記録されます。ただし、どのモードで記録したか、再生時には関係ありません。

②レコーディングスタンバイの状態にします

RECORDボタンを押しながら、そのままPLAYボタンを押してください。すると、LEDディスプレイのドットが2つとも点滅をはじめて、録音スタンバイ状態であることを示します。



③レコーディングを開始します

鍵盤またはスタート/ストップボタンを押すと、レコーディングが開始されます。頭にドラム音のみを入れることもできます。その場合は、スタート/ストップボタンを押して、数小節ドラム音を聞いてから鍵盤を押してプレイを始めてください。イントロ/フィルインボタンを押してイントロからスタートさせることもできます。また、途中でフィルインを押すと、それも記録できます。

④レコーディングの終了について

エンディングのフレーズを入れてレコーディングを終了させるときは、シンクろスタート/エンディングボタンを押します。エンディングなしで終了させるときは、スタート/ストップボタンを押しますが、その場合、シーケンスプレイのときに、繰り返しプレイされます。

覚えておくと便利です

- ※テンポ、スタイルの指定は、1バンクあたりそれぞれ1つずつになります。再生時には、自動的にレコーディング時の設定値になります。
- ※再生時のモードをノーマルにすると、その時点でシーケンサーの再生がストップして、リズムだけの伴奏に切り替わります。

■シングルフィンガーコード表

メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード	マイナーセブンスコード
そのコード名の鍵盤を押します。	そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。	そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。	そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。
C	Cm	C7	Cm7
D [♯] (C [♯])	D [♯] m (C [♯] m)	D [♯] 7 (C [♯] 7)	D [♯] m7 (C [♯] m7)
D	Dm	D7	Dm7
E [♯] (D [♯])	E [♯] m (D [♯] m)	E [♯] 7 (D [♯] 7)	E [♯] m7 (D [♯] m7)
E	Em	E7	Em7
F	Fm	F7	Fm7
F [♯] (G [♯])	F [♯] m (G [♯] m)	F [♯] 7 (G [♯] 7)	F [♯] m7 (G [♯] m7)
G	Gm	G7	Gm7
A [♯] (G [♯])	A [♯] m (G [♯] m)	A [♯] 7 (G [♯] 7)	A [♯] m7 (G [♯] m7)
A	Am	A7	Am7
B [♯] (A [♯])	B [♯] m (A [♯] m)	B [♯] 7 (A [♯] 7)	B [♯] m7 (A [♯] m7)
B	Bm	B7	Bm7

練習曲にトライ

ラ・バンバ

ボイス：15JAZZ GUITAR
 スタイル：20 8ビート
 テンポ：3 (♩ = 138)
 トランスポーズ：0
 チューニング：0
 アカンパニメントボリューム：4

アップテンポの楽しいナンバー。コードシーケンサー機能を使って、2小節のコード進行（| C, F | G7 ♯）を記録して
 まえばあとは自動的に繰り返してくれますので、簡単です。6小節目の頭でスタートボタンを押してください。

ラ・バンバ

Traditional arranged and adapted by Ritchie Valens

The musical score for 'ラ・バンバ' is written in treble clef with a 3/4 time signature. It consists of six staves of music. The first staff shows the melody. The second staff begins with a 'START' label and shows a repeating 2-measure chord progression: C, F, G7. This progression is repeated across the subsequent staves. The final staff includes a first ending (1.) and a second ending (2.) with their respective chord progressions.

Copyright © 1958 by KENTUCKY MUSIC INC.
 rights for Japan assigned to CHAPPELL INTERSONG K.K.

日本音楽著作権協会(出)許諾番号8762373-701号

★シングルフィンガーコードの押え方



ガラスの十代

次は、光GENJIの「ガラスの十代」です。メロディの演奏だけではなく、コード伴奏による弾き語りにも挑戦してください。

ボイス：21TRUMPET
 スタイル：12FUSION 4
 テンポ：0 (♩ = 120)
 チューニング：0
 アカンパニメントボリューム：4
 トランスポーズ：0

ガラスの十代

作詞・作曲：飛鳥涼

The musical score for 'ガラスの十代' is written in treble clef with a 4/4 time signature. It consists of a single staff of music. The melody is accompanied by chords: Am, G, F, D, E7, Dm, and Am. Below the staff, the lyrics are written in Japanese: いわないで いわないで さよならはまちが いだよ なんにもわからない どうし

G C Dm E7 Am G D Am G D Am

こんなひもあるよ **START** (シングルフィンガーオードベースコードの場合は、3音発音しません)

G F D E Dm Am C E7

きずついて さりげなくやさしすぎて そんないたみおぼえる ときじゃないかと
いつだって ぼくたちのしごとだから おとしたなみだのいろを わすれないね せ

Am F G7 Am

-まど-う き-もち-で い-ったきり き-たりさ ひかり とか-げを-
-つな-い こ-い-だ-ね つ-まさ-き ほ-どだ よどこへ いっ-ても-

Am G F C Dm C B7 E7 Am G F C

こわれそう なものばかり あつめてしまいうよ かがやきはかざりじゃない
ぎこちない こいでもいい ほんとのあいなら ころにはうそはないよ

Dm C to 1. E7 Am Am G F D E7

ガラスのじゅうだい なかないで なかないで ぼくだってつよかない-よ
なくさない

Dm Am G7 C Dm E7 2. E7 F Dm

まよいごにならぬように みつめているから きみを - ずっと -

Dm F Dm E7 F Em F

- つよく - はなさずに - もっと-そばに おいで もっと-そばに

Em F Em A Coda E7 Am

おいで といき-が Ah_ かせをうむまで - - *D.S.* うだい **ENDING**

Copyright © 1987 by Johnny's Music Pub. & FUJIPACIFIC Music INC & YAMAHA Music Foundation

日本音楽著作権協会 (出) 許諾番号第8762373-701号

★フィンガーコードの押え方

Am		G		F		D		E	
Dm		C		E7		G7		B7	

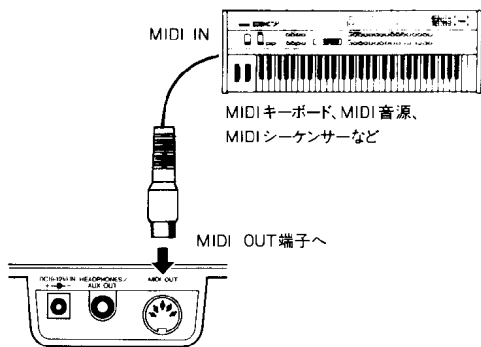
※は回転型、他は基本型です。

MIDIコントロールについて

MIDIとMIDI OUT端子について

MIDI OUT端子のMIDI(ミディ)という言葉は、Musical Instrument Digital Interfaceの頭文字をとったものです。MIDIは、2台以上のデジタルキーボードを接続して、様々なコミュニケーションをデジタル信号で行おうという目的で考え出された世界統一規格です。つまり、MIDIコントロールをするための最低条件は、MIDI規格の機器でなければならないことになります。

SHS-200の場合、MIDI OUT端子と外部機器のMIDI IN端子をMIDIケーブルで接続することによって、MIDIコントロールが可能になります。



MIDIコントロールについて

MIDIにより、次のコントロールが可能です。

- MIDIキーボードやMIDI音源を接続したときに、本機の演奏音やドラム音、自動伴奏音を、接続した機器が持っている音色で鳴らすことができます。また、ピッチベンドやビブラート、サスティン、ポルタメントのON/OFFの信号も送れます。
- SHS-200のスタート/ストップでMIDIシーケンサーやMIDIリズムマシンをスタート/ストップさせることができます。また、SHS-200のテンポで、MIDIシーケンサーやリズムマシンを走らせることができます。
- SHS-200での音色の切り替えによって、MIDI機器の音色を切り替えることができます。また、MIDIエフェクターのエフェクトプログラムを切り替えることができます。

MIDIメッセージについて

MIDIコントロールを実行するためには、MIDIメッセージの種類について知っておく必要があります。

各操作をしたとき、SHS-200のMIDI OUT端子からは、次のようなメッセージが送信されます。

- マニュアル演奏しているとき
→マニュアル演奏のノートオン/ノートオフ
- エフェクトをかけているとき
→コントロールチェンジ
- ドラム音や自動伴奏音をスタートさせたとき
→スタート
- ドラム音や自動伴奏音を鳴らしているとき
→ドラム音や自動伴奏のノートオン/ノートオフ
→タイミングクロック
- ドラム音や自動伴奏音をストップさせたとき
→ストップ
- スタイルを切り替えたとき
→プログラムチェンジ
- 音色を切り替えたとき
→プログラムチェンジ

MIDIチャンネルについて

MIDIコントロールを実行するためには、SHS-200のMIDIチャンネルと外部機器のMIDIチャンネルを一致させる必要があります。チャンネルが一致していないと、外部機器の方でメッセージを受信できません。MIDIチャンネルには1チャンネル～16チャンネルあります。

SHS-200では、一度に最高で6種類のチャンネルを使います。これは、マニュアル演奏パート、ドラムパート、自動伴奏パートなど、全部で6種類のパートがあるためです。

マニュアル演奏パートは、自由にチャンネルを選べますが、その他の5つのパートについては次のようなチャンネルが固定されています。

- ドラムパート →チャンネル16
- 自動伴奏パート1 →チャンネル12
- 自動伴奏パート2 →チャンネル13
- 自動伴奏パート3 →チャンネル14
- 自動伴奏パート4(主にベースパート) →チャンネル15

マニュアル演奏パートのチャンネル選択について

マニュアル演奏パートのチャンネル選択は、次のように行います。

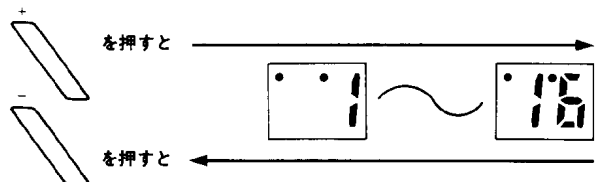
①MIDIチャンネルを変更可能な状態にします

MIDI CHANNELボタンを押して、チャンネル変更のパラメーター(機能)を呼び出します。



②チャンネルを指定します

<+> <-> ボタンを押して、希望するチャンネルにします。1～16チャンネルの中から選んでください。



MIDIコントロールを実行する場合には、接続した機器の取扱説明書等よくご覧ください。

[Portable Keyboard]
Model SHS-200 MIDI Implementation Chart

Date : 5 / 13, 1987
Version : 1.0

Function . . .		transmitted	
		Manual performance	Auto rhythm
Basic Channel	Default Changed	1 1 - 16	16 X
Mode	Default Messages Altered	Mode 3 X *****	Mode 3 X *****
Note Number	: True voice	23 - 96 * 1 *****	* 3 *****
Velocity	Note ON Note OFF	X 9 nH v=64 X 9 nH v= 0	O 9 FH v=56,64,127 X 9 FH v= 0
After Touch	Key's Ch's	X X	X X
Pitch Bender		O 7 bit resolution	X
Control Change		1 O VIBRATO SW 64 O SUSTAIN SW 65 O PORTAMENTO SW	X X X
Prog Change	: True #	O 0 - 48 * 2 *****	O 0 - 48 * 4 *****
System Exclusive		X	
System Common	: Song Pos : Song Sel : Tune	X X X	
System Real Time	: Clock : Commands	O O (Start, Stop)	
Aux Messages	: Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	X X O X	
Notes :	* 1 = トランスポーズ後の鍵域を含む * 2 = ボイスセレクトにて送信される(表1参照) * 3 = 表3参照 * 4 = スタイルセレクトにて送信される(表2参照)		

[Portable Keyboard]
Model SHS-200 MIDI Implementation Chart

Date : 5 / 13, 1987
Version : 1.0

Function . . .		transmitted			
		Accomp 1	Accomp 2	Accomp 3	Accomp 4
Basic Channel	Default Changed	12 X	13 X	14 X	15 X
Mode	Default Messages Altered	Mode 4 X *****	Mode 4 X *****	Mode 4 X *****	Mode 4 X *****
Note Number	: True voice	23-96 * 1 *****	23-96 * 1 *****	23-96 * 1 *****	23-96 * 1 *****
Velocity	Note ON Note OFF	X 9 BH v=64 X 9 BH v= 0	X 9 CH v=64 X 9 CH v= 0	X 9 DH v=64 X 9 DH v= 0	X 9 EH v=64 X 9 EH v= 0
After Touch	Key's Ch's	X X	X X	X X	X X
Pitch Bender		X	X	X	X
Control Change		X	X	X	X
Prog Change	: True #	0-20 * 5 *****	0-20 * 5 *****	0-20 * 5 *****	0-17 * 5 *****
System Exclusive		X			
System Common	: Song Pos : Song Sel : Tune	X X X			
System Real Time	: Clock : Commands	○ ○			
Aux Messages	: Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	X X ○ X			
Notes : * 5 = スタイル変更に応じて送信される (表 2 参照)					

表 1 (table 1)

音色名	プログラムチェンジ	音色名	プログラムチェンジ
00 SYNTH BRASS	0	34 HONKY-TONK PIANO	25
01 JAZZ ORGAN	1	35 TOY PIANO	26
02 PIPE ORGAN	2	36 TRANSISTOR ORGAN	27
03 PIANO	3	40 TREMOLO ORGAN	28
04 HARPSHICHORD	4	41 SMALL CHURCH ORGAN	29
05 ELECTRIC PIANO	5	42 FUNKY CLAVI	30
06 CELESTA	6	43 ACCORDION	31
10 VIBRAPHONE	7	44 GLOCKENSPIEL	32
11 MARIMBA	8	45 HAWAIIAN GUITAR	33
12 STEEL DRUM	9	46 BANJO	34
13 VIOLIN	10	50 BOWED BASS	35
14 CELLO	11	51 ACOUSTIC GUITAR	36
15 JAZZ GUITAR	12	52 HARP	37
5 ROCK GUITAR	13	53 PICKED BASS	38
20 WOOD BASS	14	54 SLAP BASS	39
21 TRUMPET	15	55 UKULELE	40
22 TROMBONE	16	56 STRINGS	41
23 HORN	17	60 ALPENHORN	42
24 SOPRANO SAX	18	61 BAGPIPE	43
25 CLARINET	19	62 MUTE TRUMPET	44
26 FLUTE	20	63 TENOR SAX	45
30 OBOE	21	64 JUG	46
31 HARMONICA	22	65 PANFLUTE	47
32 WHISTLE	23	66 ICE BLOCK	48
33 MUSIC BOX	24		

表 2 (table 2)

スタイル名	プログラムチェンジ				
	CH16	CH12	CH13	CH14	CH15
00 RHYTHM & BLUES 1	0	0	0	12	14
01 RHYTHM & BLUES 2	1	12	12	12	14
02 RHYTHM & BLUES 3	2	12	12	12	14
03 RHYTHM & BLUES 4	3	12	12	12	14
04 RHYTHM & BLUES 5	4	12	12	0	14
05 RHYTHM & BLUES 6	5	12	12	12	14
06 FUSION 1	6	12	20	20	14
10 FUSION 2	7	20	20	20	14
11 FUSION 3	8	3	3	12	14
12 FUSION 4	9	20	20	4	14
13 FUNK SHUFFLE 1	10	12	12	12	14
14 FUNK SHUFFLE 2	11	12	12	0	0
15 RAP	12	15	15	15	14
16 SLOW BLUES	13	12	12	12	14
20 8 BEAT	14	3	3	3	14
21 ROCK'N'ROLL 1	15	12	12	12	14
22 ROCK'N'ROLL 2	16	12	12	12	14
23 SLOW ROCK 1	17	3	3	3	14
24 SLOW ROCK 2	18	3	3	3	14
25 ROCK-A-BALLAD 1	19	3	3	3	14
26 ROCK-A-BALLAD 2	20	12	12	4	14
30 HARD ROCK 1	21	12	12	12	14
31 HARD ROCK 2	22	2	2	2	14
32 ORIENTAL ROCK	23	12	12	4	14
33 COUNTRY	24	12	12	12	14
34 BLUEGRASS	25	14	4	10	14
35 COUNTRY PIANO	26	3	3	3	14
36 FOLK GUITAR	27	12	12	12	14
40 SWING GUITAR	28	12	12	12	14
41 BIG BAND	29	15	15	15	14
42 MODERN JAZZ	30	3	3	3	14
43 BOOGIE WOOGIE	31	3	15	15	14
44 DIXIE BAND	32	15	19	15	15
45 DIXIE BANJO	33	4	4	4	15
46 JAZZ WALTZ	34	3	3	3	14
50 BOSSA NOVA	35	12	12	12	14
51 SAMBA 1	36	12	12	12	14
52 SAMBA 2	37	19	3	12	14
53 SALSA	38	12	3	3	14
54 TANGO	39	3	2	2	14
55 REGGAE	40	12	12	12	14
56 RHUMBA	41	12	12	3	14
60 CALYPSO	42	7	12	12	14
61 RAGTIME	43	3	3	3	3
62 MARCH 1	44	15	15	19	17
63 MARCH 2	45	15	15	19	17
64 LULLABY	46	7	7	7	14
65 BAROQUE	47	20	4	10	14
66 FANFARE	48	15	15	15	15

表 3 (table 3)

●MIDIパーカッションデータ (CH 16)

パーカッション名	キーノート
ハイハットクローズ	A2 (39H)
シンバル	D3 (3EH)
タム	C2 (30H)
スネアドラム	E2 (34H)
バスドラム	A1 (2EH)
クラベス	C#4 (49H)

故障と誤りやすい現象

現象	原因	解決方法
パワースイッチをONにしたときやOFFにしたときに、ボツンと音がでる。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	ボリュームが下がっているため。	ボリュームを上げてください。
	HEADPHONES/AUX.OUT端子にプラグを差し込んでいるため。	プラグを抜いてください。
ドラム音と自動伴奏音が出ない。	アキャンパニメントボリュームの値が<0>になっているため。	値を上げてください。
自動伴奏音が出ない。	ノーマルモードになっているため。	希望する自動伴奏のモードに切り替えてください。
ドラム音や自動伴奏音に、エフェクトがかからない。	エフェクトは、マニュアル演奏音だけにかかるため。	8 ページのエフェクトについての説明をお読みください。
複数の鍵盤を押したときに、発音されない音がある。	自動伴奏の鍵域指定やモードによって、発音数が異なるため。	ノーマルモードは6音まで同時発音できます。
音色またはリズムが切り替わらない。	ボイスボタンまたはスタイルボタンを押していないため。	4 ページおよび 5 ページの説明をお読みください。
何も操作していないのに、パラメーター値の表示が、ボイスNoまたはスタイルNoの表示に、自動的に切り替わってしまう。	ボタンを押して3秒後に表示が切り替わる機構になっています。	ご心配いりません。
コードシーケンサー機能を使ってレコーディングしたもので、記録時と違うリズムでプレイされてしまう。	プレイ中にスタイルを変更したため。	プレイ中にスタイルを変更すると、メモリーのスタイルが消え、新しく変更したスタイルがメモリーされます。元に戻したい時は、プレイ中に元のスタイルに戻してください。

仕様

●鍵盤数

ミニ鍵盤49鍵 (C1~C5)

●音色 (49音色)

シンセブラス、ジャズオルガン、パイプオルガン、ピアノ、ハーブシコード、エレクトリックピアノ、チェレスタ、ビブラフォン、マリンバ、スチールドラム、バイオリン、チェロ、ジャズギター、ロックギター、ウッドベース、トランペット、トロンボーン、ホルン、ソプラノサックス、クラリネット、フルート、オーボエ、ハーモニカ、ホイッスル、ミュージックボックス、ホンキートンクピアノ、トイピアノ、トランジスターオルガン、トレモロオルガン、スモールチャーチオルガン、ファンキークラビ、アコースティックギター、エレキギター、エレキベース、エレキドラム、エレキパーカッション、エレキサックス、エレキトランペット、エレキトロンボーン、エレキホルン、エレキフルート、エレキオーボエ、エレキハーモニカ、エレキホイッスル、エレキミュージックボックス、エレキホンキートンクピアノ、エレキトイピアノ、エレキトランジスターオルガン、エレキトレモロオルガン、エレキスモールチャーチオルガン、エレキファンキークラビ、エレキアコースティックギター、エレキハーブシコード、エレキウッドベース、エレキトランペット、エレキテナーサックス、エレキジャグ、エレキパンフルート、エレキアイスブロック、

●スタイル (49スタイル)

リズム&ブルース1、リズム&ブルース2、リズム&ブルース3、リズム&ブルース4、リズム&ブルース5、リズム&ブルース6、フュージョン1、フュージョン2、フュージョン3、フュージョン4、ファンクシャッフル1、ファンクシャッフル2、ラップ、スローブルース、8ビート、ロックンロール1、ロックンロール2、スローロック1、スローロック2、ロックンロール1、ロックンロール2、ハードロック1、ハードロック2、オリエンタルロック、カントリー、ブルース、カントリーピアノ、フォークギター、スウィングギター、ビッグバンド、モダンジャズ、ブギウギ、デキシーバンド、デキシーバンジョー、ジャズワルツ、ボサノバ、サンバ1、サンバ2、サルサ、タンゴ、レゲエ、ルンバ、カリブソ、ラグタイム、マーチ1、マーチ2、ララバイ、バロック、ファンファーレ

●モード

ノーマル、オートベースコード、メロディオンオートベースコード、オートベース、オートコード、シングルフィンガーオートベースコード、シングルハンドプレイ、ダブルハンドプレイ

●エフェクト

ピッチベンド、ビブラート、ポルタメント、サステイン

●リズムコントロール

イントロ/フィルイン1、イントロ/フィルイン2、イントロ/フィルイン3、シンクロナイズド/エンディング、スタート/ストップ

●コードシーケンサー

プレイ1、プレイ2、プレイ3、プレイ4、プレイ5、プレイ6、レコード

●パラメータチェンジ

テンポ、トランスポーズ、チューニング、アカンパニメントボリューム、MIDIチャンネル、-、+

●その他

パワースイッチ、ボリューム、2桁LEDディスプレイ、デモンストレーション、ステレオシンフォニック

●付属端子

HEADPHONES/AUX.OUT、DC (9~12V) IN、MIDI OUT

●音源

FM音源

●メインアンプ

ステレオ、1.3W×2 (乾電池使用時)

●スピーカー

9cm×2 (4Ω)

●定格電源

DC 9~12V (単2乾電池6本、電源アダプターPA-3)

●消費電力

電源アダプター (PA-3) 使用時: 5.6W
乾電池使用時: 2.8W

●電池寿命 (デモ演奏時、VOL.MAX、シンフォニックOFF)

単2乾電池6本使用)
LED点滅開始: 約5時間
デモストップ: 約7時間

●寸法 (幅×奥行き×高さ)

(全長) 848× (全高) 74× (全幅) 238mm

●重量

2.8kg (電池、ストラップ込み)

●外装材質

スチロール樹脂

●付属品

単2乾電池6本、ストラップ

※使用及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスと保証について

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けてください。

■本機の保証は、保証書により購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間などアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご連絡ください。

責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

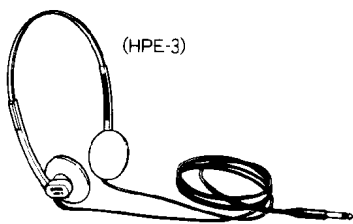
(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区本月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ株高松店内 TEL.0878-51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ株名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-6711
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534 65-1158

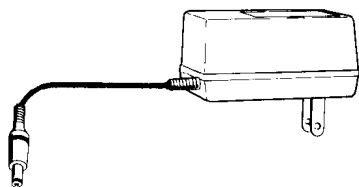
*住所および電話番号は変更になる場合があります。

オプション(別売)のご紹介

ヘッドホン(HPE-3:3,000円)



電源アダプター(PA-3:2,000円)



MIDIケーブル(MIDI-03:1,100、MIDI-15:3,000円)

